



参院選終わってからの期待

民主主義の根幹である選挙の直前の7月8日に、安倍晋三元首相が凶弾に倒れる事件が起きました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

そして、参議院議員選挙が終了。島根・鳥取合区選挙区では、青木一彦氏が圧倒的な支持で3選を果たしました。

3期目は大臣適齢期として、更なる活躍で地元のために働いていただけるものと期待しています。

期待の一つは、合区の解消です。選挙期間中に何人の候補者と出会いましたか。私は青木さん以外皆無でした。東西300km以上の合区範囲は無理があり、人口を尺度にしている憲法の改正が必要です。即ち、東京一極集中の是正です。

青木参議院議員の発する「地方創生の実現」、「地方の発展なくして国の発展なし」には全く同感で、松江市も行政施策の進展や財政支援など国政と直結しています。私たち地方議員からも強くその働きかけを行っていきます。



参院選街頭演説(東出雲町・アイバルテ前)

新型コロナ対策補正予算3件などを議決 6月定例議会

6月15日に開会した松江市議会6月定例会は、22日間の会期を終え7月6日に閉会しました。

新型コロナウイルス感染症対策としてPCR検査等の追加予算や低所得世帯への給付金、原油価格・物価高騰対策等を盛り込んだ補正予算3件(24億

5,569万円余)や、東出雲複合施設建設工事と松江市総合文化センター大規模改修工事の契約同意など、市長提案の全議案19件、承認11件について、全会一致で可決しました。

また、陳情「インボイス制度中止について」は不採択。松政クラブが起案・提案した議員提出議案「国民の祝日『海の日』の7月20日への固定化を求める意見書について」は、第1回

「海の日」の平成8年7月20日は、我が国の排他的経済水域(EEZ)200海里の根拠となった「国連海洋法条約」がわが国で発効された日、ハッピーマンデー化と区別が必要であるという趣旨。採決の結果、賛成多数で可決しました。

(予算金額や提出議案の詳細はホームページや市報等をご覧ください)

最近の活動から

副議長としての全国会議に出席

5月13日に、岩手県山田町で開催された「防衛省全国情報施設協議会役員会」に出席してきました。

この協議会は、自衛隊や米軍が使用するレーダーサイトの情報施設を当該基地交付金等の交付対象とするための運動・活動を行うための組織で、現在35市町議会が会員となり、その役員として14市町議約30名が出席しました。

協議会活動の結果、関連の法改正が平成17年に実を結び、松江市には高尾山分屯基地の基地交付金として1,231万円余(令和3年度)が交付されています。協議会では、基地交付金の増額や地上電波測定装置等の早期整備更新等を要望しています。



防衛省全国情報施設協議会役員会

地元高校生が地元特産を テーマにした演劇を発表

7月2日、地元の高校生が取材脚本・舞台製作に挑戦した演劇「ヨシヒコの宿題—上意東の柿のルーツ探してみた—」が、松江市東出雲おちらと村でありました。



主催は「あめいろ～高校生の工夫された演出に会場は大盛り上がり演劇プロジェクト～」(代表:農口さん、メンバー14人)で、「あめいろ」とは東出雲町特産ほし柿が「飴色の宝石」と呼ばれていることから。

コロナの影響で学校生活がままならず、同じもどかしい思いをしているみんなや若い人たちが楽しめるイベントをしたいとの思いから企画。物語は、中2のヨシヒコ達は、授業の一環で地元・東出雲町特産の西条柿を調べることになり、柿農家であるヨシヒコのおしちゃんとともに、上意東の柿のルーツや秘密について解き明かしていく構成です。

笑いあり、うなづきありの熱演で、地元の高校生の皆さんと特産のほし柿を誇らしく思いました。

「天国への手紙 お焚き上げ行事」を担当

6月19日、東出雲ライオンズクラブ主催で、担当の総合学習委員長として「天国への手紙のお焚き上げ行事」に関わりました。



黄泉比良坂での天国への手紙お焚き上げ行事

会場の揖屋・平賀「黄泉比良坂」は、古事記にも登場するイザナギとイザナミの夫婦の神話の舞台で、あの世とこの世の境があるとされています。この「天国への手紙」のキャッチフレーズは「黄泉の国の入り口から貴方の愛を伝えます」。亡くなった方に伝えたい思いや感謝の気持ちを手紙にしたため、郵送・現地ポストによって届いた数は本年1,200通以上。典礼のあとは、公開してもよいとされた中から3通を読み上げていただきました。

そして、お焚き上げ行事では参加者約80人が火の中に手紙を投げました。炎と煙は、黄泉の国の皆さんに思いとなって届けられたことでしょう。

3年ぶりの中海・宍道湖一斉清掃



意東海岸での中海・宍道湖一斉清掃

6月12日の早朝、「中海・宍道湖一斉清掃」が3年ぶりに開催されました。東出雲地域では、意東海岸が会場となり、沢山の皆さんが参加し水辺のゴミ拾いを行いました。

各地のイベントは、コロナ禍によって中止を余儀なくされましたが、ここに来て、感染防止策を最大限取り入れてイベントの再開が各地で聞かれるようになりました。イベント・祭りなどは実施することで伝承されるものもあり、年代によっては生涯1回ということもあります。コロナウイルスと共生していくことも大切だと考えます。

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.44を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在71歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選平成29年4月3期目当選 令和3年4月4期目当選

ホームページ、
ブログはこちらから



◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX/0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

東出雲町の水害への取り組みから

昨年7月の豪雨は線状降水帯の発生などもあって各地で大きな被害が発生しましたが、松江市内では災害復旧工事が進んでいるところではあります。その後の東出雲町における水害への取り組みについていくつかをお伝えします。

出雲郷 埋川周辺について

5月18日に、昨年7月豪雨でオーバーフローし一部床下浸水の被害が出た東出雲町出雲郷の「埋川」という都市下水路、地元自治会代表の皆さんと市河川課職員で、現地調査と意見交換を行いました。



埋川都市下水路の現地調査

「埋川」は、出雲郷・竹ノ花地内の須田川付近から北に国道9号線を横断し、町北団地の南側を東に流れ、錦新町3丁目まで地下水路となり、流末は承水路ポンプ場を経て東部承水路に流出する排水路です。途中町地内では複数の排水路と合流します。

昭和50年代に計画・施工された「埋川都市下水路」の当時は

田園を流れていましたが、宅地開発によって環境が一変しました。洪水時の田んぼの保水が期待できなくなり降雨が埋川に集中するようになったことや異常気象によって想定を超える豪雨に見舞われるようになりました。現状では、周辺の国道9号線やJR山陰線等の横断暗渠、錦新町内の暗渠断面にも課題があると考えています。流末は中海の潮の満ち引きも影響し、昨年の周辺の浸水箇所として、竹ノ花付近や埋川周辺、錦新町丁目など、広範囲に影響範囲が及んでいます。

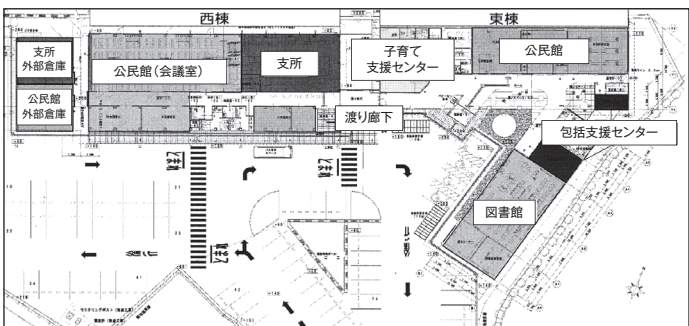
松江市では、この周辺全体の治水を総合的に考えたいとしています。そのため検討や地元との意見交換を進めるよう話し合っています。

将来的には分水路や水路断面の拡張などが必要ですが、巨費が

東出雲複合施設建設工事について

町東側の、下意東・上意東を流れる「意東川」や「羽入川」で多発しました。現在災害復旧工事が進められており、一部は地元要望を受けて早期整備等の働きかけ

を行いました。しかし、この両河川とも、河川全体の改良事業が必要と考えます。地域全体でのまとまった活動で、目指す方向の集約が必要であると思います。



▲東出雲複合施設の概要図



▲東出雲複合施設設置位置図

5月24日に、松江市東出雲公民館運営協議会(岡田正人会長)が開催され、顧問として会議を見守りました。「開館から2年目に入った、道が出来てきて専門部が具体的に

動き出した。親しまれる公民館にしていきたいと思います。」と会長挨拶。これまで以上に多様な人が集まる公民館を目指し、様々な手法を使って情報発信に努めるともに、令和5年度の新公民館への移転に向けた準備を進めるとし、令和4年度のテーマは「人づくりとネットワークづくり」として、各専門部事業や、公民館講座などの活動を進めると話し合われました。職員体制も整えられ、ソフト事業が2年目の軌道に乗りつつあります。

次にハード整備について。6月市議会で、「東出雲複合施設建設・建築」工事の請負契約締結について」が上程され、原案通り可決されました。事業の概要は、JR揖屋駅南側の既存の東出雲保健相

必要となります。今日的には土砂撤去や除塵機のスピード変更、大きなためます設置検討など、やることからやっていくということとして、現状を見守る考えです。

揖屋・市の原川の環境改善

東出雲町揖屋の中心部を流れる斐伊川水系の1級河川「市の原川」。砂堆積や雑木が生えるなど洪水への影響が心配されるようになり、地元も高齢化が進み河川愛護もままならないこともあって県への改善の要望活動を行ってきました。

令和2年9月には、川を管理する県の担当者や市の関係部局、地元町内会代表者と共に現地調査を行っています。令和3年度には河川掘削整備等の予算化がされましたが、同年7月の豪雨災害のため取りやめに。

そして令和4年度は、市の原川の河川掘削整備等の予算化で、宮の前橋から下流において工事が行われる事になりました。6月27日に揖屋の氏子会館で開かれた「市の原川浚渫工事」の説明会に出席しました。

地元の東市場(倉本町・東町・東灘町)の皆さん13名と、県松江県土整備事務所の担当者、請負の(株)トウケン担当者、野々内が出席しました。



市の原川 河川整備前



市の原川 河川整備後

本年度工事は、河口付近の「宮の下橋」から上流旧国道の「宮の前橋」までの間の浚渫工事を7月1日から始め、中旬に終了しました。今回の工事は、両岸の土砂は護岸保護のために全部取らずに残し、中央部を中心に掘削するということでした。説明の後は意見交換があり、地元から掘削の方法や河川管理、洪水時の対策など様々な意見が出されました。野々内も、今まで県との現地調査や要望活動等に関わっており、引き続き地元要望に添った働きかけを行っていきます。

次年度以降も年次計画によって上流の倉本町千鳥町五反田上分で工事が進められる予定です。

意東地区でもまとまった活動が必要

昨年7月の豪雨災害は、東出雲

9月定例議会予定

- 9月 7日(水) 本会議
(会期の決定、提案説明、決算特別委設置、決算特別委員会)
- 12日(月) 一般質問
- 13日(火) 一般質問
- 14日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 16日(金) 決算特別委員会(質疑・分科会分担委託)
- 20日(火) 総務委員会・予算委員会総務分科会・決算特別委員会総務分科会・教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会・決算特別委員会教育民生分科会
- 21日(水) 総務委員会・予算委員会総務分科会・決算特別委員会総務分科会・教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会・決算特別委員会教育民生分科会、建設環境委員会現地視察
- 22日(木) 経済委員会・予算委員会経済分科会・決算特別委員会経済分科会・建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会・決算特別委員会建設環境分科会
- 26日(月) 経済委員会・予算委員会経済分科会・決算特別委員会経済分科会・建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会・決算特別委員会建設環境分科会
- 29日(木) 決算特別委員会
分科会長報告・質疑・討論採決、予算委員会(分科会長報告・質疑・討論採決)
- 10月 4日(火) 本会議(委員長報告・質疑・討論採決、閉会)